

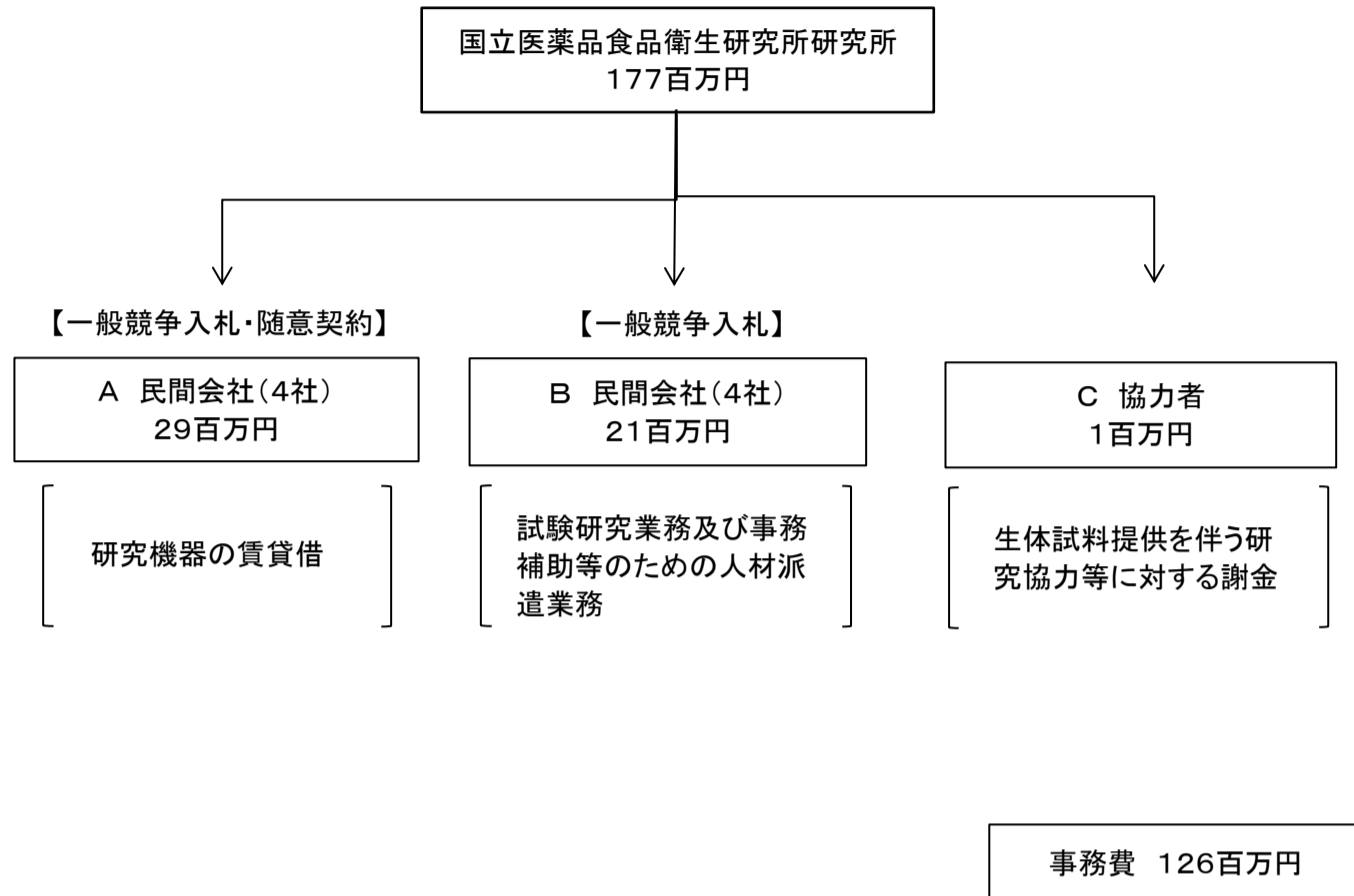
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	健康安全確保のための研究費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民生活を取り巻く医薬品、食品、その他生活環境中に存在する化学物質について、その品質、安全性及び有効性を正しく評価するための試験・研究・調査を行うことにより、健康に対する被害を防止し、安全な国民生活を確保することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年度は、①ゲノムバイオ時代の新世代医薬品の品質・安全性確保総合戦略研究、②安全安心次世代医療機器事業、③高機能性製剤の開発、承認審査の促進のための研究、④医薬品による重篤な有害事象の発現に関連するバイオマーカーの研究、⑤毒性オミクスの大規模高精度データを遅滞なく行政・国民へ還元・有効利用するための整備研究、⑥健康食品等による健康被害防止に必要な標準物質(標品)の整備と分析に関する研究、⑦国際的動向に対応する新規安全性試験法およびその評価手法の開発⑧ナノマテリアルの潜在的慢性健康影響の評価手法確立に関する研究、⑨食品中のウイルスの高感度迅速試験法およびマネジメント手法の標準化に関する研究について、実施したところである。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	182	179	179	175	173
		補正予算					
		繰越し等					
	計	182	179	179	175	173	
	執行額	182	179	177			
執行率(%)	100%	100%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	各研究課題の実施を通して、安全な国民生活を確保することが本事業の目的であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。			—	—	—	—
	達成度		%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	健康に対する被害を防止し、安全な国民生活を確保することを目的とする研究を実施する。			課題数	7	8	9
単位当たりコスト	—		算出根拠	各研究課題毎に研究に必要な経費は異なっており、単純に1課題あたりの平均額を算出することは適切でない。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	2	2	消耗品費の見直しによる減			
	職員旅費	0.9	0.9				
	委員等旅費	0.8	0.8				
	試験研究費	172	169				
	計	175	173				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・研究機器の賃貸借について、動作環境の互換性を維持する必要から当該業者以外には行うことができないため、随意契約を締結した。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・各研究課題については、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づき、所内研究開発課題評価委員会において研究課題の評価を行っており、研究の効果的な実施に努めている。</p> <p>・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		健康安全確保のための研究費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費等の見直しを行った。 (反映額: ▲3百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.NTTファイナンス(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	研究機器の賃貸借	23			
計		23	計		0
B.WDB(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	試験研究業務及び事務補助等のため の人材派遣業務	16			
計		16	計		0
C.委員			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	生体試料提供を伴う研究協力等に対 する謝金	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTファイナンス(株)	研究機器の賃貸借	23	随意契約	—
2	JA三井リース(株)	研究機器の賃貸借	3	随意契約	—
3	日立キャピタル(株)	研究機器の賃貸借	2	2	87.6%
4	NECキャピタルソリューション(株)	研究機器の賃貸借	0.3	随意契約	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	16	—	—
2	アドバンテック(株)	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	2	—	—
3	テンプスタッフ(株)	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	2	—	—
4	(株)リクルートスタッフィング	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	1	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					